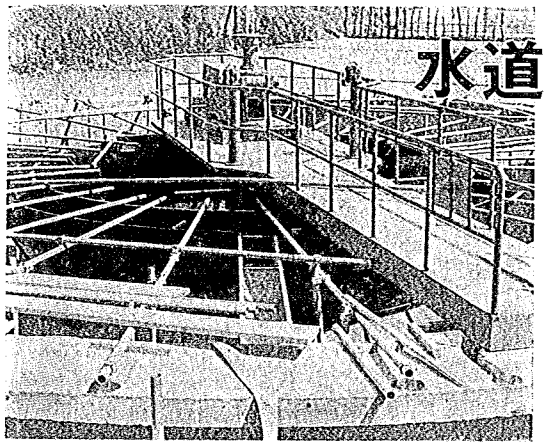
水道事業の業務公表

昭和48年10月から昭和49年3月までの水道事業の業務状況と，本年度予算の概要を次のとおり公表します。

新津市長　志田　保



満願寺浄水場に増設された高速沈でん池

浄水能力をアップ
沈でんろ過池を増設

昭和四十八年度下半期の業務状況

この期間の主な事業は、第五次拡張事業の継続として、つぎの工事を行ないました。

浄水場関係では――

●高速沈でん池、急速ろ過池各一池を増設し、浄水能力を高めました。

●送水ポンプ一台を増設し、送水能力を高めました。

●浄水機械等の自動運転化をはかるための各種施設の改良工事に着手しましたが、材料の入手が困難で、年度内に完成することができず、四十九年度に繰り越しました。

配水管関係では――

●新栄町地内の本管破裂防止と旧配水池新配水池の水量調整をはかるため、新栄町――山谷線の敷設替えを行ないました。

●下興野、北上地区の水不足を解消するため、北上線の敷設を行ないました。

●岡田部落が、市の水道に編入したのを機会に、本管の敷設をしました。

●金沢町三丁目の水不足解消のためのパイプクリーニング工事と、山谷から新津駅裏に伸びる幹線本管の工事は、極端な材料不足による入手難から、四十九年度に持ち越しましたが、現在工事を実施しています。

これらに要した経費は、繰り越し分も含めて約一億九千三十万円になりました。

経理の状況では――

下半期の経理状況は、左の表のとおりです。参考までに上半期分との累計額も掲げましたが、この額は昭和四十八年度の決算見込額です。

これによりますと、営業活動で約千七百五十万円の利益となりますが、資本勘定の不足分を内部留保資金で補てんし、なお不足する額を利益から補てんするので、実質黒字は約千八十万円になる見込みです。

しかし、四十八年秋以来の異常に上昇した物価は、依然としてさがりそうにないため、四十九年度以降は、水道財政も苦しくなっています。

昭和48年度下半期経理状況

収益的収入及び支出

収　入

区　分	科　目	下半期分	上半期分との累計
営業収益	給水収益	112,198千円	244,789千円
	受託給水工事収益	24,233	26,217
	その他の営業収益	204	467
営業外収益	受取利息及び配当金	341	753
	雑収益	1,452	1,902
計		138,428	274,128

支　出

区　分	科　目	下半期分	上半期分との累計
営業費用	原水及び浄水費	34,614千円	58,246千円
	配水及び給水費	19,263	33,708
	受託給水工事費	17,689	22,769
	業務費	10,288	18,968
	総係費	10,538	18,598
	減価償却費	14,678	31,620
	資産減耗費	2,797	3,212
営業外費用	支払利息	34,315	67,653
	繰延勘定償却費	890	1,781
計		145,072	256,555

資本的収入及び支出

収　入

科　目	下半期分	上半期分との累計
企業債	116,000千円	116,000千円

支　出

区　分	科　目	下半期分	上半期分との累計
建設改良費	拡張工事費	113,117千円	116,673千円
	給水施設費	7,437	10,155
	備品購入費	937	5,606
企業債償還金		12,072	23,966
計		133,563	156,400

設備の近代化図る
今年度の事業
三興野地区の減圧解消も

昭和四十九年度予算の概要

今年度の主な改良事業は、第五次拡張事業の継続としてつぎの工事を行ないます。

浄水場関係では――

よりいっそう良質の水をつくるため、浄水場の自動運転化をはかるために、四十八年度に引き続いて、①薬品自動注入設備　②沈でん池自動排泥設備　③ろ過池自動洗じょう設備　④水質分析設備――の工事を行ないます。

配水管関係では――

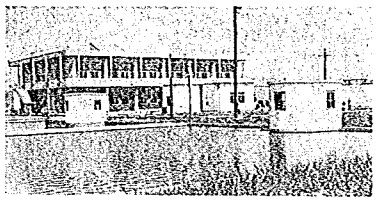
四十八年度からの継続として、配水幹線荻川線を新津駅裏から北潟まで延長し、その管から北上までの線をつなぐ工事を予定しています。この工事が完成すると、北上、北潟地域の水不足は完全に解消します。

経理の概要では――

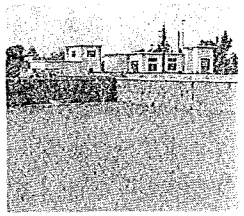
今年度の予算はつぎの表のとおりです。

営業活動では三百二十六万円余の利益を見込みましたがこれは全額資本勘定の不足を補てんして、全体で収支トントンの予算となりました。

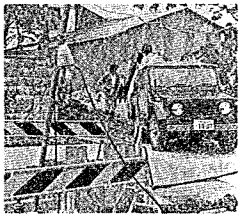
しかし、実施しなければならない仕事も押えてバランスをはかったこともあり、電力料金や薬品代の値上がり、給与改定費用などを全く見込んでいない予算のため、これらの増加は必至とみられ、最終的には、赤字になることもじゅう分考えられます。



設備改良が進められる満願寺浄水場



新しく完成した急速ろ過池(上)とパイプクリーニング工事(下)



昭和49年度水道事業会計予算

収益的収入及び支出

収　入

区　分	科　目	金　額	備　考
営業収益	給水収益	266,955千円	水道料金収入
	受託給水工事収益	43,235	修繕料、受託工事収入
	その他の営業収益	379	手数料収入
営業外収益	受取利息及び配当金	201	
	雑収益	120	不用品売却等の収入
計		310,890	

支　出

区　分	科　目	金　額	備　考
営業費用	原水及び浄水費	67,471千円	取水、浄水、配水池の費用
	配水及び給水費	44,677	送配水管、量水器の維持費用
	受託給水工事費	33,981	受託工事費用
	業務費	20,971	料金算出、徴収の費用
	総係費	20,533	庶務会計の費用
	減価償却費	35,582	
	資産減耗費	1,150	固定資産除却損
	その他の営業費用	10	
営業外費用	支払利息	80,877	
	繰延勘定償却費	2,005	退職手当金の償却費
予備費		370	
計		307,627	

(利益見込額　3,263千円)

資本的収入及び支出

収　入

科　目	金　額	備　考
企業債	157,000千円	拡張工事の借入金

支　出

区　分	科　目	金　額	備　考
建設改良費	拡張工事費	157,714千円	第5次拡張費用
	浄水施設費	1,850	浄水場の改良費用
	給水施設費	5,210	配水管の改良費用
	備品購入費	4,200	
企業債償還金		30,026	借入金の元金返済
計		199,000	

(差引不足見込額　42,000千円)

ぼくは水道ぼうや

水もれの発見のしかた

先月に比べ急に水の使用量が増えた――こんな時はどこか見えないところで水がもれていることがあります。次の方法で調べてみましょう。

○…全部のじゃ口をしめて水道メーターの赤い針（一リットル単位のところ）が動いていないかどうかを調べます。赤い針が動いていたら、メーターとじゃ口の間のどこかで、水もれがしているのです。

○…どこで水もれがしているのかは、次のようにして調べましょう。

▼水道を使っていないのにじゃ口や壁に耳をあてるとシューという音がしていないだろうか。

▼台所や浴室のハメ板や壁はぬれていないか。

▼水道管の埋めてある付近が、いつもジメジメしていないか。

▼下水溝に、いつもきれいな水が流れ込んでいないか。